

元気に過ごして、笑顔で帰国するために！ 渡航制限地域渡航ガイド

(紛争地・インフラ崩壊エリア)

① ライフライン断絶への備え

独自の生態系を守るため、持ち込み制限が非常に厳しいエリアです。



命の水を自作する

泥水や雨水を飲料水に変える「高性能な浄水器」が命綱になります。



暗闇と通信遮断

夜間は完全な暗闇になり、携帯電話の電波も意図的に遮断されます。外界と連絡を取るための「衛星電話」や「独立電源（ソーラー等）」が必須です。

② 「医療は完全に崩壊している」と心得る



一般の受診は100%不可能

軽い体調不良や怪我で治療を受けることはできません。さらに、空域封鎖により緊急搬送（ヘリやチャーター機）も飛べないため、「誰も助けに来られない」最悪の事態を想定した覚悟が必要です。

③ 物資は「すべて自腹で持ち歩く」



現地調達ゼロ

水、食料、衛生用品、電池など、生きるために必要なものはすべて日本から持ち込み、自力で運び出す必要があります。「お金があれば買える」という常識は捨ててください。

④ メンタルの防衛も「予防医学」



パニックを防ぐ

劣悪な環境下でいかに睡眠を確保し、冷静さを保つかというセルフケアが、身体の防衛と同じくらい重要になります。

カバンに入れておきたい「お守りリスト」



特殊救急キット

止血帯など
重大な外傷を自分で
処置するために



携帯浄水器

泥水からでも
安全な飲み水を
確保するために



衛星電話

ソーラーチャージャー
地上の通信が
途絶えた際
SOSを発信するために



常備薬

強力な鎮痛薬
病院に行けない環境で
痛みをコントロール
するために

「戦争リスク」や「誘拐・身代金」をカバーする特殊な保険への加入と、緊急退避を請け負う専門セキュリティ会社との事前契約が渡航の絶対条件となります。

溝回ファミリー